



進路だより No.5

令和5年9月
県立尼崎西高等学校
学習支援部

2学期が始まりました。いよいよ総合型選抜の出願や、指定校推薦の校内申込が始まります。今月は総合型選抜と学校推薦型選抜の違い、2024年度入試（59期生の受ける入試）の展望、受験データや模試データの活用方法についてまとめます。学校行事も存分に楽しみ、健康的で充実した学校生活を送ってください。



尼西応援キャラクター
あまエッコ君

<<学校推薦型選抜・総合型選抜（AO入試）の基本>>

（1）何が違うのか

学校推薦型選抜…主に学業成績を重視する入試制度で、大学や専門学校が指定した特定の高校の生徒だけが応募できる「指定校推薦」と、在籍高校を問わず誰でも応募できる「公募制推薦」の2種類がある。いずれも学校長の推薦が必須（推薦書の提出が必要）で、出願は原則11月1日以降であり、選考方法は書類審査+小論文 or 学力試験+面接が主流。

総合型選抜…能力や意欲を多面的に評価する入試制度であり、出願において学校長の推薦は不要。出願は原則9月1日以降で、選考方法は書類審査や小論文、面接のほか、体験授業やセミナーなどを実施するケースもある。

（2）出願条件でチェックすべきこと

① 成績条件等

出願の際に提出する「調査書」の中で、各教科・科目の学習成果を表す数値を「学習成績の状況（評定平均値）」という。出願資格の基本は全教科・科目を通した「全体の学習成績の状況」だが、大学によっては学部・学科の専門性に応じて特定教科・科目の成績を重視する場合もある。全体や教科ごとの評定平均値については、必ず担任の先生に確認すること。

② 専願か併願か

学校推薦型・総合型選抜の出願条件は大きく分けて次の2種類がある。

・専願…その募集単位（学部・学科等）にのみ出願できる。私立大の総合型選抜は多くが専願であり、学校推薦型（指定校推薦）はすべて専願である。合格後の入学辞退はできない。

・併願…私立大に見られる条件で、他の大学の学校推薦型・総合型選抜や一般選抜にも同時に出願できる。仮に合格しても入学辞退という選択も可能。第一志望以外の大学は併願制で受験すること。

（3）対策の心得

「学校推薦型・総合型選抜」と「一般選抜」では選考方法が異なり、別々の対策が必要となるが、学力試験においては科目が重なるものが多いため、並行した対策が可能。基礎的な問題の出題が中心となり、やすい学校推薦型・総合型選抜の対策によって基礎学力を固め、その後の一般選抜の学力試験につなげよう。また、学校推薦型・総合型選抜の受験によって自分の基礎学力を確認することで、一般選抜に再チャレンジする際、どこを伸ばせばよいか見極められるようになる。

<<2024 年度入試の展望>>

23 年度の入試結果や、24 年度の受験生を取り巻く環境などを総合すると、国公立大・私立大ともに志願者大幅増が見込まれる。その要因として以下の2点が考えられる。

① 「後がない」意識の高まり

25 年から、現在の高校1～2年生が学ぶ「新課程」による入試が行われる。新教科「情報」、地歴・公民の新科目、国語における「実用的な文章」の重視など、今年度の受験生が学ぶカリキュラムと異なる要素が多い。既卒生に対する経過措置（選択問題など）の配慮はあるが、なるべく避けたいと考えるのが自然だ。このため、24 年度入試では浪人を極力回避する「超安全志向」に傾くものと見られる。学校推薦型・総合型の、いわゆる「年内入試」による早期合格を目指す傾向が加速しそうだ。

② 学校推薦型・総合型の拡大が続く

募集枠の拡大、募集回数の増加、方式の複数化、出願要件の緩和などにより、一般選抜から学校推薦型・総合型へ募集人員を移す傾向が目立つ。

<<受験データや模試データの活用方法>>

① 合格最低点…合格最低点を調べ、合格するために必要な得点を確認しよう。多くの大学は6割が目安だ。合格最低点は入試問題の難易度を表す指標だが、受験者数の大きな変化による変動もあり得る。数年間の合格最低点の平均値と、実質倍率（＝受験者数÷合格者数）の動きも同時に確認しよう。

② 倍率…倍率には「志願倍率」と「実質倍率」の2種類がある。志願倍率は出願段階で発表される倍率で、「志願者数÷募集人員」で算出される。自分の出願校にどのくらいのライバルがいるかのおおよその指標になる。一方、実質倍率は合格発表後に出る数値で、「受験者数÷合格者数」で算出され、実際の入試状況を反映する。併願制入試においては他大学への流出を見越して、合格者数は募集人員より多く発表する大学が多い。そのため志願倍率よりも実質倍率が大きくダウンするケースが多く見られる。志願倍率よりも実質倍率を参考に出願先を決定しよう。

③ 模試判定…合格可能性の判定は、模試受験時の志望校との距離を示したもので、本番の合否を示すものではない。A 判定でも 15%程度は不合格になるし、E 判定でも 15%程度は合格している。判定結果を見て安心してはいけないし、逆に志望校をあきらめる必要もない。失点の原因を再確認し、設問別成績を使い、不得意分野の克服に努めよう。

<<9月の進路スケジュールについて（再掲）>>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8/27	8/28 登校日 指定校推薦揭示①	8/29	8/30	8/31	9/1 指定校推薦説明会	9/2
9/3	9/4 共テ説明会①	9/5 公募制推薦説明会	9/6 共テ説明会②（願書配布）	9/7	9/8 指定校推薦募集締切①	9/9
9/10	9/11	9/12 指定校推薦会議①	9/13 指定校推薦揭示②	9/14 指定校推薦募集締切② 【就職】就職希望者激励会	9/15 【就職】就職試験開始	9/16
9/17	9/18 敬老の日	9/19 指定校推薦会議②	9/20	9/21	9/22 共テ志願票締切	9/23 秋分の日
9/24	9/25	9/26 指定校推薦認証式	9/27	9/28	9/29	9/30

2 学期の進路スケジュールを再度、載せておきます。時間に余裕をもって行動しよう。また、分からないところはそのままにせず、すぐに担任の先生に相談しよう。「ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）」を徹底すること。